



みたにわたる 三谷 渡 議員

学校規模適正化と 幼児教育を問う

議員 適正化については小規模校に対し、平成31年度まで一時保留とし柔軟に対応とあるが、子供の教育環境を良くするにはあまりにも対応が遅すぎるのでは。

市長 平成31年度までに当該地域に出向き、保護者や地域住民と事前協議をする中で、教育環境充実の方策を策定していきたい。

議員 公立保育所と幼稚園の行政窓口を一本化できないか。

市長 保育所は市長部局、幼稚園は教育委員会部局にわかれているが、4月を目前に市長部局での一本化を進めたい。

議員 神島保育所移転建て替えの今後のスケジュールは。



市長 認定こども園を視野に入れた年内から定員を含め建設に向け協議する。平成32年4月からの供用開始に向け、神島をはじめ周辺の子ども達にとって良い施設となるよう事業を進める。

国道2号バイパス 事業の進捗状況は

議員 バイパス事業の用地買収と工事の進捗状況は。

市長 金光から笠岡までの9・4kmは9月末で用地買収が67%であり、年度末に80%に到達するよう努力されている。事業進捗率は10%である。笠岡バイパスの7・6kmは9月末で用地買収が85%、事業進捗率が53%である。

議員 バイパスの開通予定は、用地買収が全線で少なくとも80%を超えなければわからないとのこと。早期開通に向け県を含めオール岡山で要望していく。



おおつきたかし 大月隆司 議員

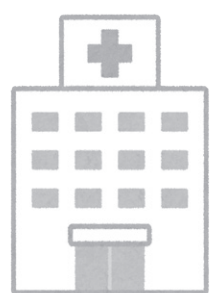
市民病院の建て替えは

議員 市民病院建て替えのはつきりとした方向性をたずねる。

市長 現在の市民病院の中心にある既存棟は築後50年を超え、耐震診断の対象外、老朽化が進んでいる。そうした中、第7次笠岡市総合計画の中で笠岡駅南地区の再開発計画も考えており、移築先の候補地の一つとして考えている。

議員 建て替え凍結解除の基準についてたずねる。

市長 仮に赤字であっても、新改革プランに基づいた経営改善に取り進む中で、医療スタッフの確保が進み、入院、外来患者数が増え、病床利用率が向上するなど、経営改善の方向が着実に進展している状況が見てとれば、その時点で建



て替えの凍結を解除することがあるかもしれない。

農地保全の対策は

議員 9月議会で、干拓や北川、吉浜などの優良農地については引き続き保全を図っていくとの方向性が示されたが、それ以外の農地についてどのような形で保全をしていくのかたずねる。

市長 農業、農村が有する多面的機能の発揮を促進するための多面的機能支払交付金事業や農地の立地条件による所得格差の是正の支援策としての中山間地域等直接支払交付事業、また農業生産の不安定性や収入の変動を緩和する経営所得安定対策等推進事業などの営農条件を整備するための施策等について、引き続き国の制度を最大限に活用していく。